

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV
2008年度 事業報告書

1、事業実施の報告

2008年は、国内の様々なメディアグループと連携する機会が増え、年間を通じて外部との交流が活発化した年であった。中でも、7月の洞爺湖サミットに向け、他のメディアとともに「G8メディアネットワーク」を結成。資金調達、経理、プロジェクト管理、広報、ライブ番組配信など、主要な役割を担い、スタッフはそれぞれが新しい経験を積むことが出来た。また番組では、サミット前の4月から、ContActにおいてG8サミット関連番組をシリーズ化して配信。また、シビルG8(京都)、TICADIV市民社会フォーラム(横浜)、市民サミット(札幌)などのライブ番組は、他のNGOなどから高く評価された。

このほか、新たな事業として、パナソニックの実施している「キッズ・ウイットネス・ニュース」向けの支援プログラムを開始。小中学校の教員向けワークショップの開催や指導教員からの相談受付業務などを行った。10月末に実施した教員向けのワークショップは好評を博し、次年度の継続が決まっている。

またメディアセンターの利用を活性化させるために、9月からはスタッフのシフト制を導入し、土曜日や夜間の対応を開始したほか、11月からは、ドキュメンタリーの短編作品を上映する「1コインサロン」をスタート。会員や制作者などが気軽に集える場を設ける取り組みを開始した。ただ、「PlanetEyes」のラインナップとして配信するようなビデオ作品は、去年に引き続き、年間を通じて1本も生まれなかった。来年度は、この反省にたち、センターとして活用しやすい場作りを更に心がけたい。

なお、社会貢献メディア支援プログラムでは、G8や広報セミナーなどの効果もあり、NGO/NPOなどからの依頼が大幅に増えたものの、全体の収入は減額。今年度も昨年に引き続き2年連続の赤字となった。企業の社会貢献部に依存していた体質を脱しながらも、赤字を出さない収支構造にするために、これまで蓄積された作品をカテゴリー別に再パッケージ化して販売するなど、新しい収入の確保への取り組みを始めている。

2008年は、アドボカシー活動も力を入れた。8月には、政府が進めている「情報通信法」へのカウンターとして、「コムライツ(コミュニケーションの権利を考えるメディアネットワーク)」の結成を呼びかけ、政党アンケートの実施やロビー活動を行った。

(1)会員数 *2008年12月末日現在 (カッコ内は前年との増減)

正会員: 33人(1減) 賛助会員: 88人(7増) 7団体(2減)

(2)従業員の状況 *2008年12月末日現在

フルタイムスタッフ3名・臨時スタッフ1名・フェロー1名

(3)活動の拠点

東京事務所・京都事務所

2、事業実施に関する事項

—コンテンツに制作に係る事業—

(1) 市民の視点や人権・環境を考慮にいたした番組の制作

独自企画番組の制作および配信

【事業内容】

ContAct

3月以降、月2回に減らすかわりに番組のストックは行わず、タイムリーな企画を制作するよう心がけた。特に、G8の期間中は、毎晩9時から生放送をする取り組みにも挑戦。日頃、東京とは距離のある札幌在住の方々へも参加を呼びかけ、制作チームを立ち上げて番組作りを行った。スタッフ・キャストとも初めての顔合わせという中で制作は困難も多かったが、ホストには雨宮処凛氏を迎え、7月3日から9日までの毎日、ニュース3〜4本とゲストトークを配信することができた。ゲストは、若者から高い人気を誇る高円寺「素人の乱」の松本哉氏、オーストラリアの歴史学者・テッサモーリス・鈴木氏、イタリアの自由ラジオ活動で著名なビフォ氏、世界的なアナキストで人類学者のデイヴィッド・グレイバー氏など。サミットという世界的な場ならではの豪華なゲストを迎えることができた。

他のメディア、フリージャーナリストなどと連携を深め、定期的に共同番組が制作できるようにとの目標を立てたが、残念ながら実現しなかった。しかし、11月配信の番組「麻生邸ツアー逮捕事件を解剖する」と題した番組では、フリージャーナリスト青木理氏をゲストに招き、知らせざる公安警察の裏側をお話いただき高いアクセス数を稼いだ。また、4月には映画「靖国」の上映中止をめぐる動きの中で、フリージャーナリストらが、OurPlanet-TVに記者会見のネット配信を依頼。国会での会見の様様をノーカットで配信し、監督のインタビューは大きな注目を集めた。

2008年11月12日

麻生邸ツアー逮捕事件を解剖する



先月末、渋谷の歩道で3人の男性が逮捕された事件。YouTubeの公開で大きな議論となったこの逮捕から何が見えるのか？日本の警察とメディアについて考えます。

[書籍「日本の公安警察」](#)

[YouTubeの映像](#)

[麻生でてこい！！リアリティツアー救援会ブログ](#)

23分

PLAY ▶



映画『靖国』が、一部の劇場で上映中止となっている問題で、国内のジャーナリスト・映画監督・メディア関係者の緊急アピールをライブ配信しました。

現在オンデマンド配信中です！こちらからご覧ください。



李鏗監督

16分

PLAY ▶

東京ラブレター

東京近郊のNPO・NGOを紹介する内容で、FMわいわいでの放送と連動し、毎月1本制作。10月より、FMわいわいの番組改編に伴って、東京ラブレターが「恋するNPO」の一コーナーという位置づけから独立した番組となった。

【配信実績】

ContAct

- 1月1日 『情報通信法でテレビとネットはどう変わる？』 日隅一雄(弁護士)
- 1月16日 『青少年とメディア ドイツはどう考える？』 ウヴェ・ヴァルツェルさん(ドイツ人警察官)
- 1月23日 『ドイツのオープンチャンネル訪問リポート』 オッフエナ・カナール・ベルリン訪問リポート
- 1月30日 『「ユタの黄金言葉」って何だろう？』 西村仁美(ノンフィクションライター)
- 2月6日 『温暖化でツバルに何が起きているか？』 山本敏晴(NPO 法人宇宙船地球号)
- 2月13日 『みんなが目代わり耳代わり』 北神あきら(NPO 法人ふれあいの輪)
- 2月20日 『マイケルムーアがホテルを叱る！』(日本語版)
- 2月27日 『ビルマ潜入取材で見てきたこと』 アイリーヌ・マーティン(映画監督)
- 3月12日 『G8に向けてNGOが動く！～G9 サミットNGO フォーラム』
- 3月26日 『もっと知りたいジェネリック医薬品』 永井恒司(NPO 法人ジェネリック医薬品協議会)
- 4月9日 『ここまで来た！貧困の現実』 「反貧困フェスタ」リポート
- 4月24日 『G8 シェルパとのラウンドテーブル』NGO フォーラム主催シビル G8
- 5月14日 『社会を、自分をバックドロップ！』 野本大(映画監督)
- 5月21日 『TICAD IV 市民社会セッションライブ中継』
- 6月4日 『「生きるチャンス」を「結核・エイズ活動家が語る』 ウィンストン・ズル(HIV・結核活動家)
- 6月18日 『日本初！本格メディアセンターが GO！』
- 7月3日 『市民発G8ニュース 第1回』 雨宮処凛(作家)・松本哉(高円寺素人の乱)
- 7月4日 『市民発G8ニュース 第2回』 雨宮処凛(作家)・ディビッド・グレーバー(ロンドン大学)ほか
- 7月5日 『市民発G8ニュース 第3回』 志葉玲(ジャーナリスト)・ベニー・チャン(香港 Inmedia)
- 7月7日 『市民発G8ニュース 第4回』 鈴木亨(北海道グリーンファンド)
- 7月8日 『市民発G8ニュース 第5回』 テッサ・モーリス・スズキ(オーストラリア国立大学)
- 7月9日 『市民発G8ニュース 最終回』 フランコ・ベラルディ(メディア理論活動家)・櫻田和也(indymedia)
- 7月23日 『性的被害者を映して～フォトジャーナリスト・大藪順子さん』 大藪順子(フォトジャーナリスト)
- 8月06日 『パレスチナを伝えるイスラエル人報道写真家の素顔』 ジブ・コーレン(報道写真家)
- 8月27日 『核保有国インドを優遇？～どうなる米印原子力協定』 フィリップ・ホワイト(原子力資料情報室)
- 9月10日 『手でこぐ自転車で1200キロ！～永野明さんの挑戦～』 永野明(TE-DE マラソン)
- 9月24日 『“フツウの仕事がしたい”すべての人へ』 土屋トカチ(映画監督)
- 10月08日 『ビルマ・ダム開発が脅かす少数民族の生活』 秋元由紀(ビルマ情報ネットワーク)
- 10月29日 『ようこそオープンチャンネル会議へ』 (サシャ・クリンガー/川上隆によるリポート)
- 11月12日 『麻生邸ツアー逮捕事件を解剖する』 青木理(ジャーナリスト)
- 11月26日 『死刑執行15人、どう思う？』 秋山映美・松浦亮輔(死刑に異議ありキャンペーン)
- 12月10日 『カメラが映した精神科病院のアトリエ』 高橋慎二(映画監督)
- 12月26日 『OurPlanet-TV スペシャルインタビュー』 計 36 本

東京ラブレター

- 1月25日 『食生活から社会問題を解決しよう！』酒井聡子(NPO 法人ソーシャルコンシェルジュ)
- 2月22日 『9条を世界平和に生かそう』足羽與志子・増井幸子(9条ピースウォーク実行委員)
- 3月28日 『離婚後 300 日以内に生まれた子は前夫の子？』坂本洋子(m ネット民法改正情報ネットワーク)・
- 4月25日 『チャイルドライン ～子どもの話を聴く活動』矢吹陽子(しながわチャイルドライン)
- 5月26日 『貧困で命を落とす子どもをなくしたい』山田太雲(オックスファム・ジャパン)
- 6月27日 『交わる・つながる場をみんなで作りたい～ATTIC～』阿部幸弘・カジタシノブ(ATTIC)
- 7月28日 『市民がつながる、市民が伝える～G8メディアネットワーク～』築瀬裕子・横山陽士
- 9月1日 『終わらない戦争の裏側にあるもの～映画『アメリカばんざい』藤本幸久(映画監督)
- 9月30日 『死刑に異議ありキャンペーン』秋山映美(監獄人権センター)松浦亮輔(アムネスティ)
- 10月27日 『渋谷の公園がナイキ化？』藤井光(現代美術家/映像作家)
- 11月28日 『社会についてみんなで語り合う場を～憲法カフェ～』園良太(憲法カフェ)

(敬称略)

(2) 人権・環境を考慮に入れた国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介

映像コンテンツの翻訳

【事業内容】



2007年のドイツハイリゲンダムサミットをテーマにしたドキュメンタリー『フェンス』の日本語翻訳版を制作した。ドイツ語ボランティアの嶋秀教さんが翻訳監修を行い、映画監督・土屋豊さんが字幕編集の監修を担当。OurPlanet-TV スタッフ平野・白石などが共同作業を行い2ヶ月かけて70分の作品を完成させた。完成した日本版はG8前の集会や大学の授業などで上映された。

監督: Armin Marewski・Andreas Horn 撮影: Andreas Horn

プロデューサー: Rainer Kölmel 製作: ZDF/KINOWELT

翻訳: 嶋秀教・サーシャクリンガー ほか日本語版編集: 土屋豊・平野隆章

おすすめインディーズ映画

【事業内容】

前年に引き続き、優れた独立系ドキュメンタリー映画をウェブサイトにて紹介するとともに、ポスターの掲示、チラシ配布など宣伝・広報などに協力した。

【紹介作品】

「破片のきらめき 心の杖として鏡として」「未来を写した子どもたち」「女工哀歌(エレジー)」「ひめゆり」「ブラジルから来たおじいちゃん」「第21回東京国際女性映画祭」「ウォー・ダンス／響け僕らの鼓動」「フツの仕事がしたい」「アメリカばんざい crazy as usual」「半身反義」「靖国 YASUKUNI」「1000の言葉よりもー報道写真家ジブ・コーレーン」「バックドロップ・クルディスタン」「パレスチナ 1948・NAKBA(ナクバ)」「第39回VIDEO ACT! 上映会」「カルラのリスト CARLA'S LIST」

—市民の情報発信(パブリック・アクセス)に係る事業—

(3) 子ども・市民のための映像制作教育

映像ワークショップ

【事業内容】



年3回にわたる通常のコースに加え、以前から要望のあった撮影や編集など専門技術に特化した単発のワークショップを開催した。4年間のワークショップをひとまとめにした書籍「ビデオカメラでいこう」が4月に、七つ森書館より発売。夏期のワークショップ以降は、書籍購読者による申し込みが多かった。ワークショップ卒業生の制作支援や受け皿作りが課題である。

またパナソニックの実施している「キッズ・ウイットネス・ニュース」向けの支援プログラムを開始。小中学校の教員向けワークショップの開催や指導教員からの相談受付業務などを行った。10月末に実施した教員向けのワークショップは好評を博し、次年度の継続が決まっている。

【実施期間】

1月 撮影専門コース・編集専門コース・クリニックコース

8月 春期コース 8月 夏期集中コース 10月 秋期コース

1月25日 パナソニック・キッズ・ウイットネス・ニュース・教員向けワークショップ

10月～12月 パナソニック・キッズ・ウイットネス 相談プログラム

(4) 市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり

メディアセンター



【事業内容】

メディアセンターの利用を活性化させるために、9月からはスタッフのシフト制を導入し、土曜日や夜間の対応を開始した。また、11月からは、ドキュメンタリーの短編作品を上映する「1コインサロン」をスタート。会員や制作者などが気軽に集える場を設ける取り組みを開始した。ただ、「PlanetEyes」で配信するような作品は生まれなかった。来年度は、この反省にたち、センターとして活用しやすい場作りを更に心がけたい。

アドボカシーおよびキャンペーン活動



【事業内容】

8月に、政府が進めている「情報通信法」へ対するカウンターとして、「コムライツ(コミュニケーションの権利を考えるメディアネットワーク)」の結成を呼びかけ、政党アンケートの実施やロビー活動を行った。10月には総務省よりヒヤリングを受け、「情報通信法」の検討アジェンダの中に「コミュニティメディア」についての記載が加わるなど一定の成果を得た。

NPOのための広報セミナー



【事業内容】

NPOの事業を効果的に広報するスキルや映像を使った広報の効果について伝えるセミナーを開催した。

【実施期間】

5・9月 「メディア掲載術」(メディアセンター)

6・10月 「ウェブやインターネットの活用」(メディアセンター)

7・11月 「効果的な映像の活用法」(メディアセンター)

講師派遣

【事業内容】

映像ワークショップを必要としている団体に講師を派遣した。また、9月の市民メディアサミットをはじめ、メディア関係の研究会・シンポジウムなどに講師・パネリストとして参加した。

【実施】

- 1月19日・26日 「区民活動活性化広報講座／制作編・リリース編」おおた市民活動推進機構 池田
- 3月8日 「ききまね講座／プレスリリースのはじめ方」東京市民活動ボランティアセンター 池田
- 3月15・16日 「若者スキルアップ講座／広報編」BUMB 東京スポーツ文化館 池田
- 4月16日 「総合学習・社会を知り、考えるシリーズ／医療福祉編」東京都立小山台高校3学年 池田
- 5月14日 「OurPlanet-TVの実践」日本国際情報通信協会 池田
- 7月22日 「Y150 市民広報プロジェクト公開意見交換会」
横浜開港150周年のY150市民参加プラットフォーム推進委員会 池田
- 8月27日 「科学プロデューサー講座」独立行政法人国立天文台 白石
- 10月4日 「いきがい発掘講座・NPO 早わかりガイド／宣伝の效能編」足立区 池田
- 11月22日 「新聞、TV、そしてオルタナティブメディアの今」A SEED JAPAN エコカルプロジェクト 池田
- 11月29日 「フェアトレード・カフェトーク／市民メディア、世界へ向けて」武蔵野市・らっこの会 池田

(5) 社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援

映像コンテンツなどの受託制作

【事業内容】

企業の社会貢献部署からの受託は減少したものの、G8や広報セミナーなどの効果もあり、NGO/NPOなどからの依頼が大幅に増えた。中でも、G8サミットを契機に公開したWWFのWEBプロジェクト「地球温暖化の目撃者」に関するコンサルタント・コンテンツ制作は好評で、来年度も引き続きの受託が決定している。

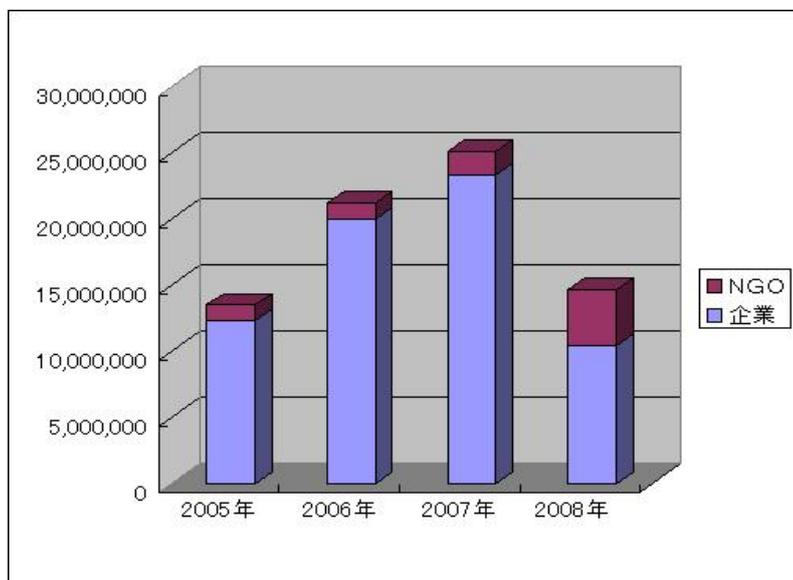
【実施内容】

◆企業

- 1月 マイクロソフト(InnovationAward)/(情報セキュリティ発表撮影) 小林・平野
- 3月 イマジカ(電子タグ実証実験ビデオレポート制作) 小林・武藤・平野
マイクロソフト(アクセシビリティ研修撮影) 白石・飯田
- 4月 イマジカ(シカゴ中継サポート) 小林・池田・高木
- 4月 マイクロソフト(よつば倶楽部特別映像コンテンツ撮影・編集) 白石・高木
- 5月 マイクロソフト(NEXT プロジェクト英訳挿入) 白石・平野
- 5月 イマジカ(包装からみたリスクマネージメント素材制作) 白石・平野
- 6月 マイクロソフト(NEXT プロジェクト事業紹介ビデオ・英語版作成) 白石・平野
- 7月 マイクロソフト(Do-IT プログラム撮影) 白石・平野
- 10月 マイクロソフト(CEATEC シニアVIP ツアー撮影) 白石・平野
- 11月 マイクロソフト(CSAJ セミナー～イベント報告コンテンツ作成) 白石・平野

◆NPO/NGO

- 5月 財)結核予防協会(TICAD ライブ制作協力) 白石・池田・平野・高木
- 6月 ピースデポ(国際非核会議ビデオ) 白石・平野
- 7月 WWF ジャパン(ClimateChangeWitness コンサルティング) 白石
- 7月 WWF ジャパン(ClimateChangeWitness ビデオコンテンツ編集) 白石
- 7月 G8市民フォーラム北海道(市民サミット記録撮影) 白石・池田・平野・高木
- 7月 G8 メディアネットワーク(ライブ配信エンコーディング) 白石・池田・平野・高木
- 11月 FIDR(ナムザン郡地域総合開発プロジェクト報告ビデオ) 白石・平野
- 12月 DEAR(開発教育教材ビデオ) 白石・平野
- 12月 G8NGO フォーラム(市民サミット及びIMCのNGO 会見撮影・DVD 作成) 白石・池田・平野・高木
- 12月 WWF ジャパン(ClimateChangeWitness ビデオコンテンツ制作) 白石



2008年の事業の流れ

	番組制作	ワークショップ・セミナー	アドボカシー・NW	委託制作
担当者	ContAct: 小林・白石 ラジオ: 高木・池田・平野	WS: 平野・白石 広報S: 池田・高木	G8: 白石・平野・高木・池田 ComRights: 白石・池田 チャンボン: 白石・平野・高木	委託制作: 白石・平野 ライブ配信: 高木
1月	ContAct・東京ラブレター NPJスタート ライブ配信	単発講座 ↓		イマジカ ↓
2月				
3月	映画「靖国」 抗議会見配信 【高アクセス】		G8メディアネットワーク ↓	
4月		春コース ↓		マイクロソフト ↓
5月	シビルG8(京都) ライブ配信	広報セミナー ↓		WWFジャパン マイクロソフト ↓
6月	TICAD市民社会 フォーラムライブ配信			結核予防会 (TICAD) ↓
7月	市民発G8ニュース 毎日ライブ配信	↓		NGOフォーラム FIDR ↓
8月		夏集中コース ↓	ComRights コミュニケーションの権利 を考えるメディアネットワーク	DEAR ↓
9月		広報セミナー ↓		
10月	東京ラブレター 単独番組化	秋コース パナソニック 先生向けWS ↓	アジアメディア ネットワーク (チャンボン) ↓	マイクロソフト メディアカ出版 ↓
11月	麻生邸ツアー 逮捕問題配信 【高アクセス】	↓		
12月		↓		

2008年度 収支報告

2008年1月1日～2008年12月31日

科目	支出の部	収入の部
事業 収入		
番組制作情報提供		162,740
映像作品紹介		-
メディア教育支援		2,882,461
情報発信支援		1,463,940
社会貢献メディア支援		15,594,292
助成金収入		-
会費収入		1,170,000
入会金収入		-
正会員会費収入		280,000
賛助会員(個人)会費収入		640,000
賛助会員(団体)会費収入		250,000
寄付金収入		7,360
一般寄付		7,360
番組制作		-
緊急行動		-
雑収入		80
受取利息収入		19,666
収入 計		
番組制作情報提供支出	1,288,327	
映像作品紹介支出	1,010	
メディア教育支援支出	550,336	
情報発信支援支出	307,784	
社会貢献メディア支援支出	3,548,888	
給与手当(事業)	11,930,715	
事業費 計		
法定福利費	1,481,141	
福利厚生費	3,412	
通 信 費	830,303	
荷造 運賃	91,310	
水道光熱費	360,137	
旅費交通費	49,390	
広告宣伝費	3,000	
接待交際費	5,000	
会 議 費	20,562	
事務用消耗品費	91,050	
備品消耗品費	142,632	
新聞図書費	129,604	
印刷 経費	118,350	
修 繕 費	189,598	
地代 家賃	2,116,800	
保 険 料	12,950	
租税 公課	1,000	
諸 会 費	39,312	
支払手数料	90,007	
管理費 計	5,785,558	
支出 計		
当期収支差額		▲ 2102079

貸借対照表

2008年12月31日現在

科 目	金 額		(単位:円)
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	13,348,278		
その他流動資産	12,000		
流動資産合計		13,360,278	
2 固定資産			
固定資産合計		1,092,000	
資産合計			14,452,278
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		939,419	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			939,419
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	15,614,938	0	
当期正味財産増加額		-2,102,079	
正味財産合計			13,512,859
負債及び正味財産合計			14,452,278

財産目録

2008年12月31日現在

科 目	金 額		(単位:円)
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	13,184,114		
現金	89,072		
郵便振替	75,092	13,348,278	
その他流動資産	12,000		
流動資産合計		13,360,278	
2 固定資産			
保証金	1,092,000		
固定資産合計		1,092,000	
資 産 合 計			14,452,278
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	520,000		
預り金	419,419		
流動負債合計		939,419	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負 債 合 計			939,419
III 正味財産の部			
正味財産合計			13,512,859